

森づくり通信

No.27

2013年(平成25年) 3月22日(金)発行

発行/金沢森づくりサポートバンク事務局

〒920-1301 金沢市永安町77番地 (金沢市林業振興協議会内)

TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



ネコヤナギ

今年の冬は寒い日が続きました。雪の降り方は降っては融け、降っては融けで、交通に支障をきたさず、森にもやさしい降り方でした。

当協議会ではこの時期、金沢の海岸松林の再生に向け各種団体、学校と協力して、抵抗性クロマツの植栽活動を進めています。

会員の皆様も、森づくり活動やイベントへの参加などご協力いただけるよう、宜しく願い申し上げます。

平成25年度 金沢森づくりイベント予定

日程	イベント内容 (予定)	場所
5月 9日(木)	金沢市校下婦人連絡協議会 友情の丘植栽地整備	医王の里
5月 11日(土)	「金沢テクノの森づくり2013春」 森林整備活動とキノコの植菌	金沢テクノパーク緑地帯
5月 下旬	「竹やぶマスターズ」① 竹やぶの伐採や森林整備活動	金沢テクノパーク緑地帯
6月 月上旬	「内川源流の森づくり」 ブナ植栽箇所の下草刈り	犀鶴林道 堂町地内

「金沢森づくりサポートバンク」

<http://www.kanazawa-forest.com/supportbank/>

森づくりイベントの詳細な告知や活動報告などを掲載し、道具の貸し出し申請書や会員登録用紙のダウンロードなどでもできるサイトとなっています。

貸し出しする道具の種類や予約・貸し出し状況も掲載され、

「森づくり通信」も閲覧やダウンロードができます。

ぜひご覧いただき、ご活用下さい。



金沢産材利活用サイト「かなざわ産使っまし」

<http://www.kanazawa-forest.com/kanarin/>

「金沢産材を利活用することで金沢の森を守る」ことがよく分かる内容になっています。

金沢産材の紹介や森林の働き、活用事例や製品紹介などの情報が掲載されています。ぜひご覧下さい。



森づくり出前講座 実施報告

森づくり活動や森林の講座などに「森づくり専門員」を派遣しています。

森林の役割や森づくりの進め方などについて、森づくり専門員が説明するとともに、森の中での体験学習などを行っています。

例えば小学校の総合学習の時間に森林環境教育や森林の公益的機能についての説明を行う、または森づくり活動の際に現地に出向いて技術指導をするなど様々なテーマでの出前講座を実施しています。この冬は主に海岸松林再生事業に関連した講座を実施しました。

森づくり出前講座の問合せ・申込みは 金沢市 森林再生課 TEL:076-220-2217 までお願いします

金沢市教育プラザ富樫出前講座

1月14日(月・祝) 親子 20名

金沢市教育プラザ富樫にペレットストーブが設置された機会に、親子のきずなを深める「パパぢからプロジェクト」の冒頭で、森林の役割や木のエネルギー利用を学ぶ講座を開き、森林整備の重要性、木質ペレットの利用について理解を深めてもらう出前講座を実施しました。

参加した親子はペレットの実物を手にとって、「いいニオイがする」などの感想も聞かれ、講座終了後玄関ホールに設置されたペレットストーブを見て、暖かい環境にやさしいので、自宅に設置を検討してみたいとの声も聞かれました。

金沢市では地球にやさしく、再生可能な木を燃料にしたペレットストーブの普及を推進しており、報道各社の取材もあり後日放映されました。



かもめ保育園 松のお話と植栽プレートづくり

2月27日(水) 園児年長 13名

3月5日(火)の抵抗性クロマツの植栽に向けて松という樹木に親しむ講座を行いました。

開始のあいさつ後園児に「まつぼっくりのうた」を歌ってもらい、種子の飛散の方法、松林が海からの風や砂、塩害から私たちを守ってくれている事などを説明し、次回は松苗の植栽を行うこととお話しました。

講座の後に、5日の植栽時に取り付けるネームプレートを作成してもらいました。スギ間伐材を輪切りにしたものに、カラーマジックで名前やイラストを描きました。



金沢市 海岸松林 再生事業

金沢海岸の松林は防砂や防潮、防風のため先人が植栽、保育してようやく大きく成長し、人家や作物を守ってくれるようになりました。

ところが昭和の末頃から石川県でも、マツが大量に枯れる現象が目立ち始め、里山をはじめ貴重な海岸松林にまで被害が拡大してきました。

減少した海岸の松林を地域住民やボランティアの力で再生し、美しい松林を後代に引き継ぐために、金沢市が計画を策定し毎年 2,000 本、平成24年度まで5年間で計 10,000 本の抵抗性クロマツを、粟崎から打木に至る金沢海岸に植栽します。

※抵抗性クロマツとは： 松枯れの原因となるマツノザイセンチュウが、松の樹体内に侵入しても枯れにくい、抵抗力のあるクロマツです。

海岸松林再生事業のお問い合わせは、金沢市 森林再生課 TEL:076-220-2217 までお願いします。



粟崎やすらぎの林

3月2日(土)
植栽本数 400本

粟崎やすらぎの林に、コマツ金沢工場の社員80人が、植栽を行いました。また、森林整備として、ニセアカシアの枯れ木や枯れ枝を処理しました。



打木地区

3月3日(日)
植栽本数 50本

農地の作物を守るため、抵抗性クロマツの植栽を行いました。同じ地区に4年前に植栽した松苗も生育の良いものは、大人の身長くらいに大きくなっています



下安原地区

3月3日(日)
植栽本数 600本

農地の作物を守るため、抵抗性クロマツの植栽を行いました。

この地区は防風帯が細かく配置されており3班に分かれ効率よくおこなわれました。



五郎島地区

3月5日(火)
植栽本数 400本

五郎島生産組合と近隣のかもめ保育園児が参加し、植栽を行いました。園児達は植えた苗木の支柱に、事前に作成したネームプレートを取り付けました。



大野地区

3月15日(金)
植栽本数 計200本

小学校近くの金石・大野やすらぎの林にて、抵抗性クロマツの植栽を行いました。作業前にマツの話をしてから大野町小学校1年生28名が60本、植栽をしました。



金石地区

3月21日(木)
植栽本数 計350本

金石・大野やすらぎの林に、金石町小学校3年60人と金石中学校1年113人が合同で、植栽をしました。慣れ親しんだ海岸松林を守ってほしいと思います。



豆コラム



『ふきのとう』

代表的な春一番の山菜です。つぼみでまっさきに春を告げる使者。独特の香りとほろ苦さが春の息吹を感じさせてくれます。

ふきみそ、てんぷらやみそ汁の実など、なんとも言えず、あー今年も春がやってきたなーと実感させてくれます。

さらに、日も長くなりぽかぽか陽気になると、気持もウキウキ、外で思いっきり体を動かしてみたくありませんか？

刈払機・伐木等業務(チェーンソー) 講習会のお知らせ

「刈払機取扱作業者の安全衛生教育」 【日時】平成 25年 4月18日(木)

刈払機を安全に正しく使うための講習会が実施されています。登録会員の方には受講に対しての支援を行っていますので、希望される方はこの機会に是非受講下さい。会場は石川森林文化ホール(金沢市東蚊爪)です。

※ 受講ご希望の方は4月5日(金)までに同封の申込書にご記入の上

金沢森づくりサポートバンク事務局までお送り下さい。

また、「伐木等業務(チェーンソー)特別教育」が、6月5日(水)～6日(木)(2日間)に予定されています。

詳細につきましては、講習会の約1ヶ月前にご案内いたします。

金沢森づくりサポートバンク **登録者募集!!**

登録者を随時募集しております。様々な特典が受けられますので、ご登録がまだの方は是非ご登録下さい!

- 募集対象** 森づくり活動をボランティアとして参加できる、18歳以上の方で、団体または個人。
- 特典内容** 金沢市内で実施する森づくり活動に、人材派遣や森づくりツールの貸し出しなどの支援や会員相互の情報交流を行っています。
- 登録方法** 所定の登録申込書にて、郵送またはFAXにてお申し込みください。
- 申込み・問い合わせ先** 金沢森づくりサポートバンク事務局まで

※ 登録済み会員の皆様からもPRして下さい、ご協力の程よろしく願いいたします。 ※

編集後記 「PM2.5 と 黄砂」

いま、話題になっている厄介者のPM2.5の濃度が上がったのは、お隣中国からの影響で間違いありません。同じく中国の砂漠で発生した黄砂は、偏西風に乗って日本の国土に降り注ぎます。

どちらも厄介者ですが、長いスパンでとらえると日本の土にとっては無視できないものになっているようで、北アメリカの例では1cmの土が作られるのに、100～500年の歳月が必要と推定され、日本での黄砂は最近の1万年で4～7cm堆積しているそうです。

それでも春は花粉も飛び交うし、なるべくなら厄介者は御遠慮願いたいですね。

金沢市森づくり専門員 加藤 八郎